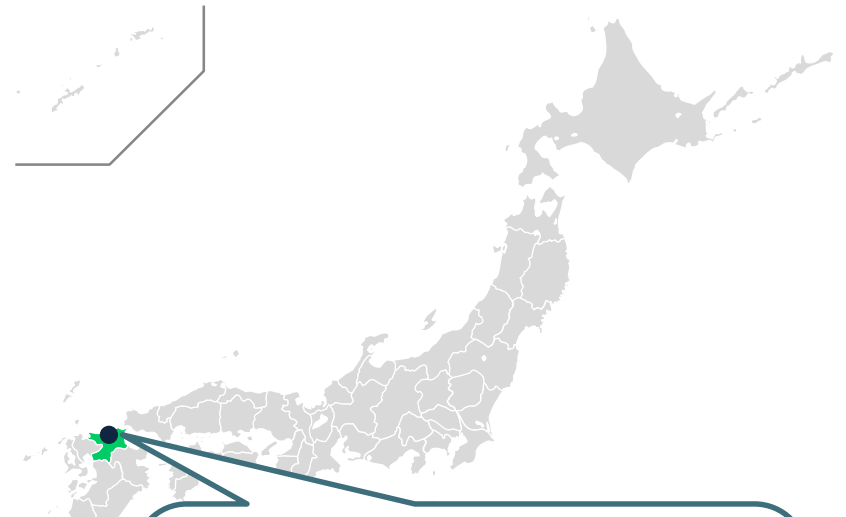
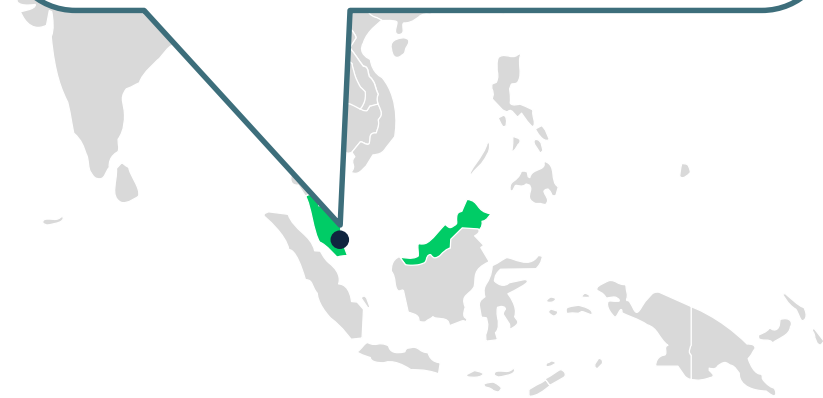


マレーシア国イスカンダル開発地域-北九州市に関する 都市間連携

北九州市は、2015～2016年度にイスカンダル地域開発庁（IRDA）と都市間連携事業を実施してきた経緯があり、その実績を基に、両者は2016年8月に覚書を締結した。2019年度から都市間連携事業を通じて、マレーシア国イスカンダル地域における脱炭素化の促進、ならびに、それに寄与するJCM案件形成を目的に活動を実施してきており、本年度で3年目となる。

マレーシア国イスカンダル地域

国立環境研究所、マレーシア工科大学、IRDA、京都大学などの国際研究チームによって「マレーシア・イスカンダル開発地域における2025年に向けた低炭素社会ブループリント」を策定。地域レベルの実践的な低炭素社会計画としてはASEAN諸国で初めての例で、アジア諸国の低炭素都市づくりのモデルケースとなることが期待されている

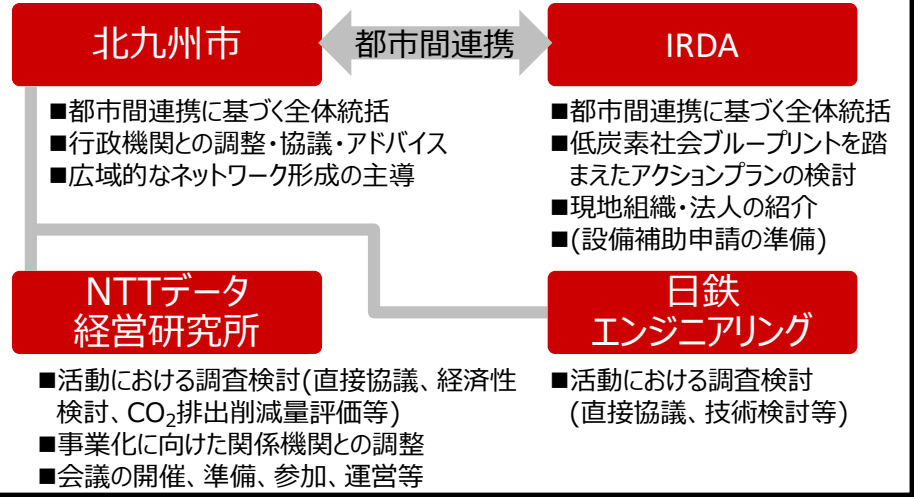


北九州市

アジア諸都市との環境国際協力ネットワークをベースに、北九州市の持つ脱炭素に関するノウハウを輸出し、世界の脱炭素化に貢献。また、2020年にゼロカーボンシティ宣言を実施している

マレーシア国イスカンダル開発地域-北九州市に関する都市間連携

【体制図】



【写真】



▲IRDAとの打ち合わせの様子

【事業活動・成果】

- 活動①産業共生型のエコタウンの実現に向けた活動**
- ・内容：マレーシア国内企業2社に対してヒアリングを実施(リサイクル会社・太陽光発電事業者)。
 - ・成果：今後産業共生型エコタウンに関するパイロットプロジェクトを実施するための関係性を構築した。
- 活動②廃棄物発電の実現に向けた活動**
- ・内容：廃棄物発電の対象サイトであるSeelong最終処分場のコンセッション企業であるSWM Environmentと2回協議を実施。
 - ・成果：今後廃棄物発電に関するパイロットプロジェクトを実施するための関係性を構築した。

- 活動③脱炭素化行動計画(仮称)の提案**
- ・内容：IRDAとの協議を3回実施。
 - ・成果：IRDAが作成を検討している総合開発計画(CDP3)の中に、産業共生型社会や廃棄物発電の考えを盛り込むことを合意。

- 活動④JCM適用案件の発掘活動**
- ・内容：昨年度発掘した案件を定期的にフォローアップし、新たに一社に対してもアプローチを実施。
 - ・成果：新規案件一件を発掘した。マレーシア国とJCMが締結されれば設備導入の具体化を進める。